



為石小学校の合言葉 「ためし 最高！ ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



学校だより

○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える

ためし



令和7年11月21日号 文責 上久木田 雄二

勉強を楽しくするには

10月は長崎市のキュビナ強化月間でした。市に示した本校の目標は、ひと月一人平均1000問でした。(ちなみに市は700問を下限としていました。)

本校は結果として、10月は

全校で、201035問
一人平均、1896問

でした。子どもたちは本当によく頑張ったと思います。

解答数が伸びている子ども、正答率が95%を超えている子どもが多数います。

私が毎週給食の時間に各クラスをめぐり、その時々のキュビナ進捗状況を確認しています。その時の子どもの反応には大きな違いがあります。

解答数に重きを置いている子
正答率を強く意識している子
自分の位置を確かめたい子
周りの友人の進み具合に興味がある子

そんな中、学習を楽しめていると私が感じるのは、

悔しさをにじませる子

です。

本気で取り組んだからこそ負けたくない気概とか、自分以上に努力している子どもに対して悔しい思いをするような様子を見せる子どもは、必ず伸びます。

逆に、こんなことを口にする子どもがいます。

そんなに頑張らんでも・・・
数ではないやろ・・・
自分なりにやっとけば大丈夫・・・

確かにその通りですし、一定自分の気持ちをコントロールしているとも考えることもできます。

私が持ちたいのは、今後伸びるかどうかという視点です。現状に満足していっては、成長はありません。

稀代のスラッガーとなった大リーガーですら、成長を求めて日々努力を重ねると言います。

勉強も同じことです。

自分の現在地を知り、課題を見つけ、改善するサイクルを自分で回す原動力を、自分で身に付けることが大切です。



HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

